

日時：2025年10月17日（金）17時00分～

場所：第一講義室

「中枢神経系のグランドデザインの 解読に向けて」

講師からのメッセージ)

脳はどういった原理に基づいて、認知・思考・記憶・感情といった高次機能を実現しているのでしょうか。この謎を解き明かすためには、その構造的基盤である神経回路網の理解が必要不可欠です。我々は、空間解像度に優れた形態学的手法を用いて、大脳皮質の抑制性神経細胞が特異的なネットワーク構造を形成していることなど、中枢神経系における「シナプス結合則」の解明に取り組んできました。最近では、正常脳だけでなく、神経変性疾患モデルマウスの解析も進めており、病態解明に向けた形態解析も推進しています。また、形態解析を加速するイメージング技術の開発にも取り組み、神経細胞を隅々まで標識するアデノ随伴ウイルスベクター、蛍光シグナルを最大180倍増強するFT-GO法、電子顕微鏡観察にも対応する組織透明化技術ScaleSF法など、独自のイメージング技術も開発してきました。本セミナーでは、最新のイメージング技術を駆使した神経解剖学について紹介します。

講師

順天堂大学大学院医学研究科・脳回路形態学・教授

日置寛之

世話人：解剖学分野 佐藤昇（内線2045）